

ユニホーム刷新や施設リニューアル

県内企業の取り組み関心

台湾からブランディング視察



懸樋社長(右)からブランディングの取り組みについて説明を受ける台湾からの訪問団。11月28日、鳥取市西今在家のグリーンゴルフ21

台湾の企業経営者らが11月28日から2日間、鳥取県を訪れ、国内で存在感を示そうと取り組んでいる、県内の企業や観光地を視察した。企業のブランディングなどを手掛けるスターブランド(東京都港区)が企画し、視察先の一つとなった懸樋工務店(鳥取市桂見)の懸樋義樹社長は「鳥取に興味を持ってもらい、台湾とのチャーター便運航が終わった後につながる関係をつくることが重要」と取り組みの意義を語る。(真田透)

台湾から訪れたのは、企業ブランディングに取り組む中小企業経営者のほか、ロレアル、スウォッチ、世界的な広告代理店レオ・バーネットなどの台湾現地法人の代表者ら約40人。山陰や台湾で企業ブランディングを手掛けているスターブランドの村尾隆介代表が

で成長を続ける企業を視察。懸樋工務店が経営するグリーンゴルフ21(鳥取市西今在家)では、約3年前から取り組んでいる企業ブランディングについて、懸樋社長がユニホーム刷新や同施設のリニューアルなどの事例を挙げて「やりたいことができるよう変わるためのブランディング」と説明した。訪問団の参加者らは「社長が率先して取り組み、社員にもブランディングの大切さが浸透していることが分かった」などと話し、ブランディングによる企業価値の向上に強い関心を示した。

訪日外国人客(インバウンド)の多角化が求められる中、懸樋社長は「こうした機会を捉えて台湾の企業家とも関係を築き、鳥取に興味深い地域と認識してもらうことがチャーター便のその後の展開にもつながる」と話している。

10月の売上
2カ月ぶり

山陰4

中国四国百貨店協
山陰4百貨店の10月
高を発表した。消費
前の駆け込み需要の
美術・宝飾などの売
が落ち込み、前年同
・2%減の15億94
円で2カ月ぶりのマ

女性の活躍
子育て優良

鳥取市内の企業

認定交付

ぼみ
しん

る

